



本宮市長
佐藤 嘉重

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた平成22年の新春を清々しくお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから、市政運営に格別のご理解、ご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政におきましては、政権交代という大きな変化のあった年でありました。新政権の発足により、国の予算や制度のあり方など様々な観点から見直しがされており、新しい時代の幕開けを強く感じた年でありました。

本市におきましては、合併後の活力あるまちづくりを進めるため、①「市民の健康づくりと子育て支援事業の充実」、②「農業を基本とした産業の振興」、③「本宮駅乗降客の1日5、000人突破をめざすことによる賑わいづくり」を目標に掲げ、様々な施策を

展開してまいりました。「ボディデザインスクール」をはじめとした健康力アップ応援事業や「もとみや自給自足パーティー」の実施による地産地消の促進、農産物の首都圏への販路拡大、交流人口を増加させることで地域の活性化を高める駅利用促進に力を注いでまいりました。今年も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

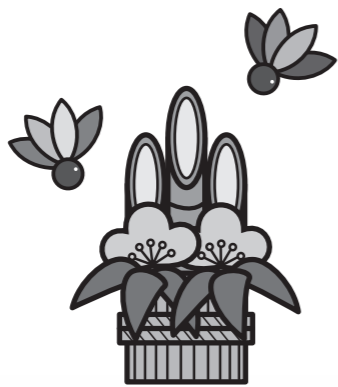
昨年は、健康増進、子育て支援、多世代交流の3つの機能を持つ複合施設「本宮市民元気いきいき応援プラザ（愛称・えぼか）」と白沢総合支所新庁舎が相次いで完成しました。「えぼか」は健康づくり・子育て支援の拠点として、白沢総合支所は地域振興の拠点施設として多くの市民に有効に活用されています。また、阿武隈川左岸築堤対策室を設置し、長年の悲願であります阿武隈川本築堤事業の大きな一歩をすることができました。教育施設等においては、本宮小学校改築工事、岩根小学校耐震補強工事、岩根幼稚園増築工事などの整備が順調に進んでいきます。特に本宮小は、今年が5カ年事業の締めくくりの年となります。今後さらに、学校施設等耐震化推進計画の実行に向けた準備を進め、子どもたちの安全・安心を確保してまいります。

「本宮市第一次総合計画」を策定しました。「水と緑と心が結びあう未来に輝くまち もとみや」を将来像に、新しい時代を創造するまちづくりがスタートしています。今後も「総合計画」・「自主的財政健全化計画」を基本に着実な市政運営を行い、市民の皆様が「住んでよかった」と実感できるようなまちづくりに全力を傾注してまいります。

現在、長引く不況により、地域経済や雇用情勢はかつてない厳しい状況にあります。また、人口が大都市に集中し、地方は減少するという傾向が続くなど、都市と地方との格差が広がっていきな、今後益々、地方の力が試される時代になってくると考えられます。本宮市は、県内では一番小さな市ではありますが、市民の皆様と共に力を合わせ、人と人との交流がある、温もりのあるまちづくりを進め、「小さくてもキラリと光る本宮市」を創造してまいりますので、今後とも、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年 新 賀 謹



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

輝かしい平成22年の新春を迎え、本宮市議会を代表いたしまして新年のごあいさつを申し上げます。また、日頃から皆様方には、本市議会に格別のご理解とご協力を賜っておりますことと心から厚く御礼を申し上げます。

早いもので本市も合併4年目を迎えました。昨年は、それぞれの地域の特性を生かしながら「水と緑と心が結びあう未来に輝くまち もとみや」の実現に向けて実践した一年でありました。また、全都市住みよきランキングで全国総合27位、北海道・東北ブロックで1位になるなど大きな評価を得た一年でもありました。

本市は、

- ・豊かな自然を守り、市民が生きがいの持てるまち
- ・地域の主体性と歴史を尊重しつつ、市民相互の融和に努める
- ・地域の特性を活かし、発展するまちを基本理念とする本宮市第一次総合計画に基づき、地域の一体性を促進し住民福祉の向上と均衡ある発展を目指しておるところであり、私ども議会もこれらの実現に向け努力をしてまいりたいと考えております。

さて、今、自治体を取り巻く状況は一段と厳しさを増しております。我が国の経済状況は一昨年のアメリカに端を発したサブプライムローン問題による世界規模での金融危機以来、大きな影響を引き続き受けており、景気後退による税収の落ち込みによる財源不足、そして地方への権限委譲などにより多くの自治体が厳しい財政運営に直面しております。また、雇用の後退、少子高齢化等、地方の情勢は厳しい現実となっている中で、地方自治の真価が問われる時代が到来したと言われております。

この様な状況のもと、本市におきましては市民の視点に立つて行財政改革に取り組み、財政の健全化と行政の効

率化に努め、分権時代にふさわしい住みよい地域、生活しやすい環境整備のため、議論を重ねてまいりました。その結果、合併協議における重要課題に取り組み、昨年は本宮小改築及び岩根小耐震補強事業、本宮市民元気いきいき応援プラザ（えぼか）や白沢総合支所がオープンするなど、市の発展に向けて大きく進むことができました。本年は、重要課題であります阿武隈川本築堤の早期完成や安心安全な街づくりのために積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

議会では昨年より市役所、総合支所並びにえぼかにおいて備え付けテレビによる議会議中継を開始し、開かれた議会を目指しております。議会としましても市民生活・福祉の向上に向け、議会本来の使命である行政のチェック・提言機能の強化を図りながら市民の皆様への負託にこたえるため、邁進してまいり所存であります。

終わりに、平成22年が皆様方にとつて良い年であり、平和で希望の持てる1年であつて欲しいと強く願うものがあります。私ども議会も更なる努力と責務を全うしてまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



本宮市議会議長
矢島 義謙